

日本経済「雪解け」の時代
～インフレ転換と日本株の未来～

ニュースの不安を読み解き、私たちの生活と資産を守るための具体策

Gemini Notebook

日々のニュースに振り回されていませんか？



短期的なノイズ

- 短期的な市場の動き＝「投資家の心理（不安や期待）」のブレ
- 地政学リスクは一時的なショック要因



長期的なシグナル

- 一時的な変動（ノイズ）は無視してよい
- 注目すべきは、根底で進む「長期的な経済の構造変化」

Gemini Notebook

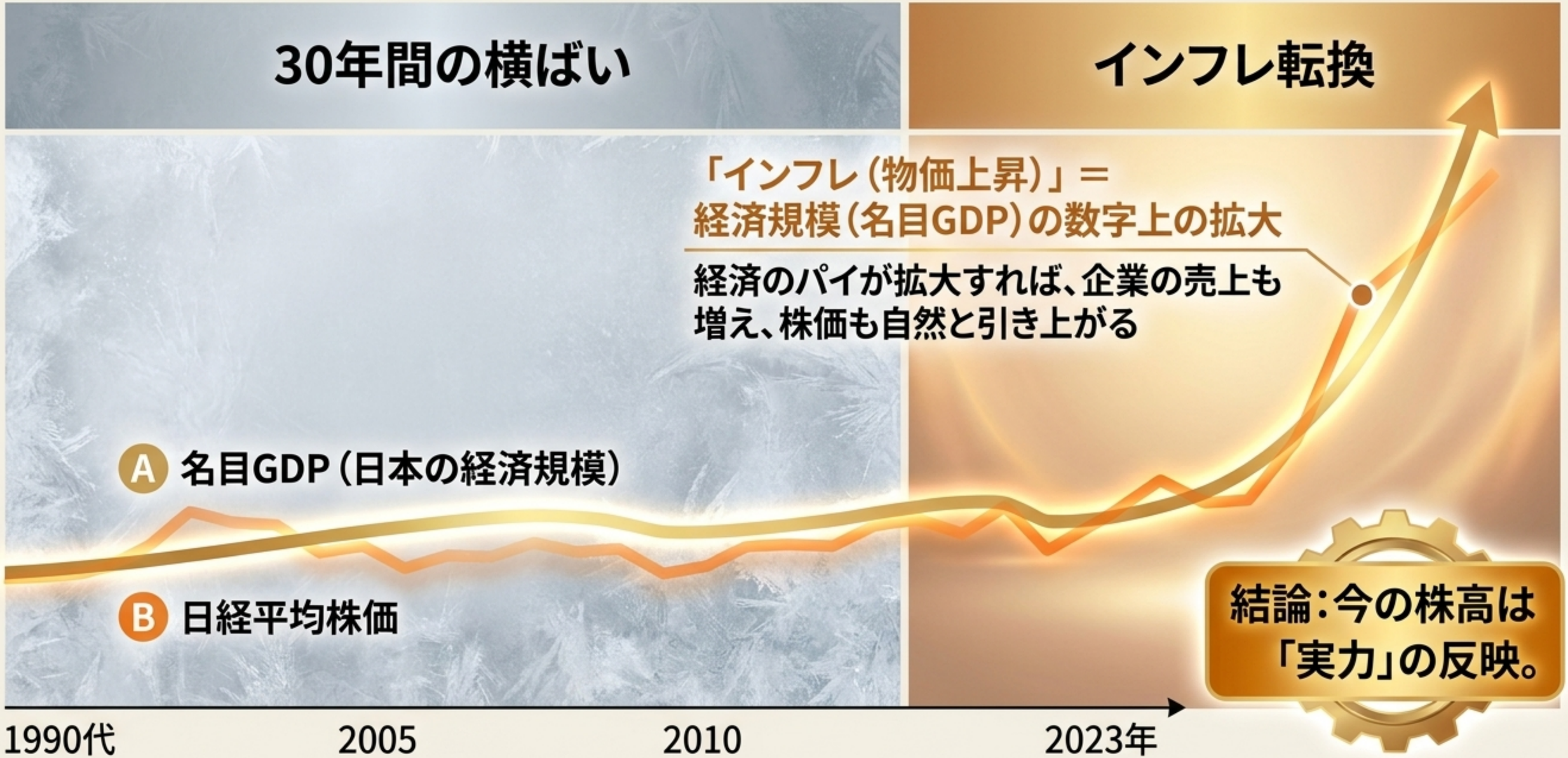
私たちは「30年に一度の歴史的転換点」にいる

	過去30年：デフレ経済	現在〜未来：インフレ経済
経済のルール	モノが安くなる	モノの値段が上がる
企業の行動	コストカット・投資抑制の「縮小均衡」	価格転嫁（値上げ）・AIや省力化への「前向きな投資」
個人の正解	現金預金が最強（お金の価値が上がる）	資産運用が必須（お金の価値が下がる）
株価の動き	横ばい・低迷	経済成長と共に上昇

過去の「デフレの常識」で現在を見ると、今の株高がすべて「異常（バブル）」に見えてしまう。

Gemini Notebook

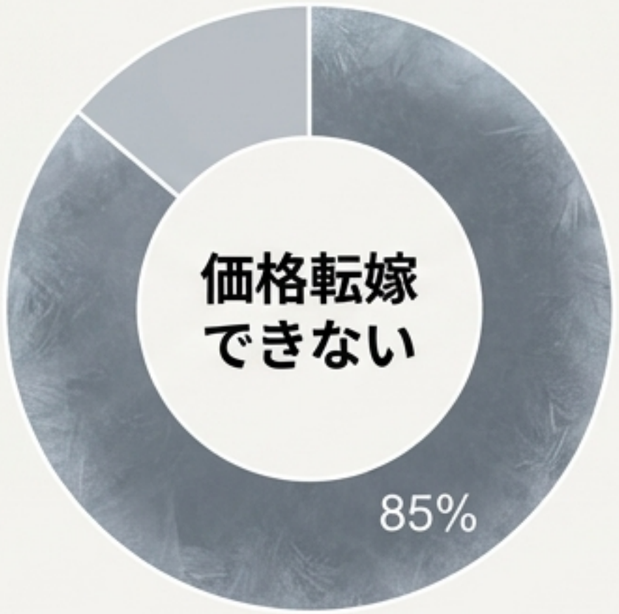
株価上昇のカラクリ ＝「名目GDP」の拡大



Gemini Notebook

企業の変革｜「値上げできない病」からの脱却

【過去】



【過去】企業は身を削って価格を維持
（売上伸びず、給料も上がらず）

【現在】



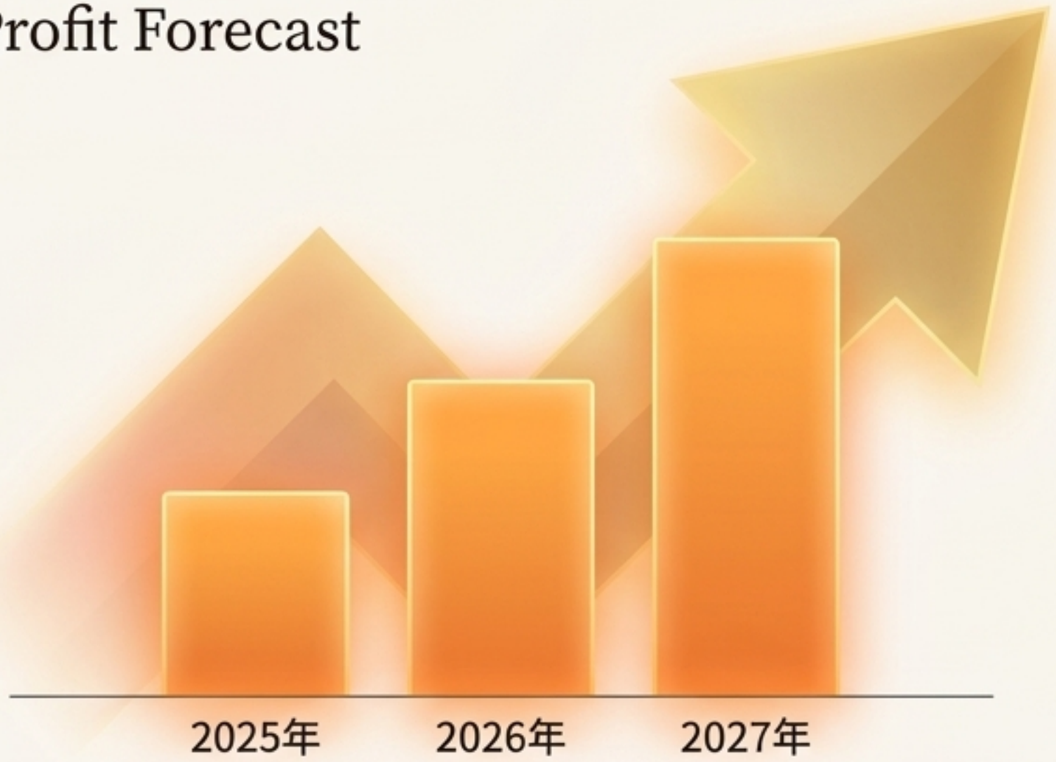
【現在】明確なプラス転換へ。
見通しは「毎年+1.5%〜2.5%」の価格上昇。

結論：企業が堂々と「適正価格」を提示し、利益を出せる体質に変化した。

Gemini Notebook

業績ハイライト｜「過去最高益」の更新が続く日本企業

Profit Forecast



今年度も約1割増益の見通し。値上げ効果＋過去のコスト削減体質＝記録的な利益率。

PER Fair Value Shift



株価の土台（適正水準）そのものが毎年切り上がっている。「割高なバブル」ではない。

Gemini Notebook

投資の再開 ｜「貯め込む企業」から「投資する企業」へ

【これまで】
売上が伸びずコスト（設備・人件費）を削る「縮小均衡」。30年間、有形固定資産を減らし続けた。

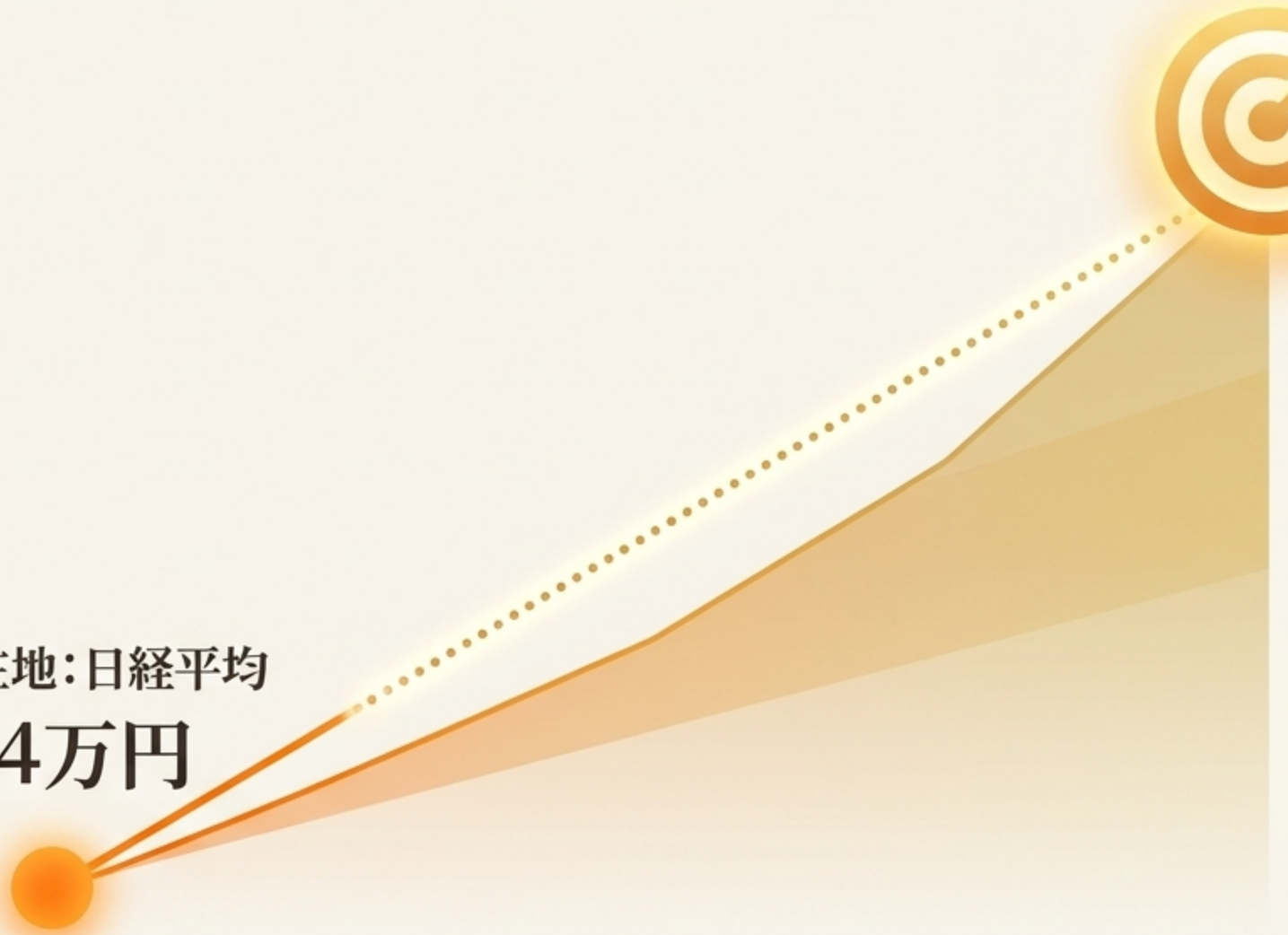


【これから】
人手不足やAI化対応で、今年度の設備投資は約1割弱の増加見通し。

結論：企業の「前向きな投資」が、日本の成長力（潜在成長率：現在約1%）を底上げし始めている。

Gemini Notebook

長期シミュレーション | 経済成長がもたらす「未来の株価」



未来のゴール：
日経平均 12万円

現在地：日経平均
約4万円

- 名目GDPと株価の過去の連動データ（相関）に基づく機械的シミュレーション。
- もし名目GDPが「年率1%」で着実に成長を続ければ、15〜20年後には日経平均「12万円」に到達する計算。

※短期的な予測ではなく、インフレ経済が継続した場合の理論値。長期的に日本株には十分な上昇余地がある

Gemini Notebook

疑問と共感｜なぜ、生活は豊かになった気がしないのか？



【タイムラグ】

企業が先に豊かになり、
個人の生活実感（実質）の向上は
遅れてやってくる。

【消費の二極化】





スーパーでは「牛肉・牛乳が12〜15%減少し、豚肉へ」という強い節約志向。一方で、外食や旅行など「価値を感じるサービス」にはお金が使われている。

Gemini Notebook

構造課題｜「円安」が定着している本当の理由



- 私たちが毎日使うITサービスの多くは海外製。
- これらを利用するたびに「円が売られ、ドルが買われる」構造が定着している。

結論：金利差が縮まっても、すぐには大幅な円高に戻りづらい。インフレ・円安の定着への「備え」が不可欠。

Gemini Notebook

サマリー | 新しい日本経済の全体像



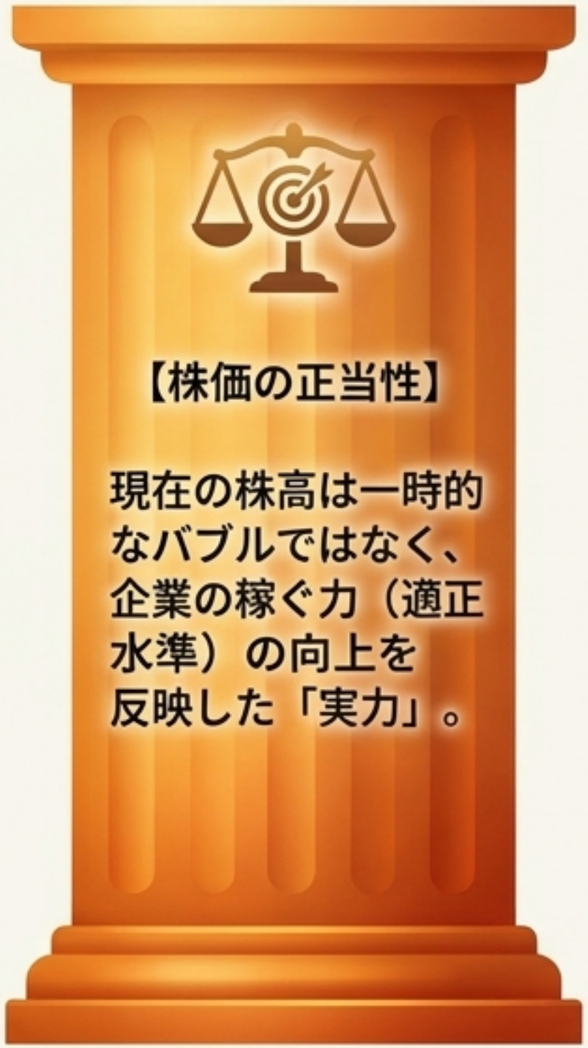
【経済フェーズの変化】

デフレからインフレへ。名目GDPは明確な拡大期へ突入。



【企業の実力向上】

価格転嫁の浸透と、AI・省力化への前向きな設備投資により、業績は過去最高水準へ。



【株価の正当性】

現在の株高は一時的なバブルではなく、企業の稼ぐ力（適正水準）の向上を反映した「実力」。

Gemini Notebook

インフレ時代を生き抜く、私たちの「これからの行動」

変化を恐れず、新しい経済のルールの波に乗る。

- ✓ **ノイズを無視する:** 日々の株価の乱高下やニュースに一喜一憂せず、長期目線を持つ。
- ✓ **マインドセットを変える:** 「現金・貯金が最強」はデフレの常識。インフレ時代はお金の価値が目減りするリスクを知る。
- ✓ **成長に参加する:** 少しずつでも成長する資産（株式など）へ資金を振り分け、日本経済の「前向きな変化」の恩恵を受ける。

Gemini Notebook